

仕 様

取付場所	壁面、天井面に取り付けできます。
適用パイプ	塩化ビニール管 (VP-150、VU-150)、スパイラルパイプφ150
壁厚寸法	カタログでパイプフードの壁埋込み寸法をご覧ください。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

特 性

電圧 100V 50／60Hz共用		
消費電力 (W)	質量 (Kg)	
50Hz	60Hz	0.77
3.4	3.0	

取り付けかた

つぎのことをお守りください

- 高温（40℃以上）になる場所、油煙の多い場所、腐食性ガスの発生する場所に取り付けないでください。プラスチック部品が変形したり、絶縁が悪くなり感電の原因になります。
- 天井や壁からの距離を守ってください。本体カバーの取り付け、取りはずしができません。
- 給気電動シャッター（吹出口）と火災警報器は1.5m以上離してください。
- スパイラルパイプをご使用の場合、切断面のバリを取ってください。
- 壁スイッチは、東芝ライテック（株）製NWDC2031（WW）など低ワット用をご使用ください。低ワット用を使用しないと赤ランプが暗くなってしまう。
- 外気（冷気）浸入や雨水浸入、虫浸入の影響のない場所を選び、屋外側にはパイプフードを取付けてください。（例えば屋外側に軒のある場所や通路灯から離れた場所）
- 石膏ボードへの取り付けは、市販の石膏ボード用アンカーを使用するなど確実にこなしてください。

本体を取り付ける前に

■壁に取り付けるとき

1. パイプの取り付け穴位置を決めます。
2. 壁に穴をあけ、パイプを取り付けます。雨水が室内へ入らないようにパイプを少し傾斜させます。パイプが壁面より引っ込まないようにしてください。
3. 電源ケーブル用の穴（φ16穴）から電源ケーブル（VVVFケーブルφ1.6、φ2）を引きこみます。

■天井に取り付けるとき

1. パイプの取り付け穴位置を決めます。
2. 木枠をつくり野縁に固定します。
 - 木枠内寸 □167mm
3. 天井に穴をあけ、配管工事をします。パイプが天井面より引っ込まないようにしてください。
 - 直管部の長さ 40mm以上
4. 電源ケーブル用の穴（φ16穴）から電源ケーブル（VVVFケーブルφ1.6、φ2）を引きこみます。締付ねじを壁側にしないでください。

本体の取り付けかた

1. 電源ケーブルを図のように加工します。
2. 締付ねじをゆるめ、本体カバーをはずします。
3. ねじをゆるめ端子カバーを開きます。
4. 電源ケーブルを本体に差し込みます。
5. 本体をパイプに差し込み、壁または天井に付属の取付ねじ（4本）で固定します。
6. SL端子を持ち上げ電源ケーブルをSL端子に芯線が止まるまで確実に差し込みます。

7. 本体カバーを取り付けます。

- ①本体カバーを本体上部のツメ（2カ所）に引っ掛けます。
- ②本体カバーの下部を本体に押しつけながら、締付ねじを右側（時計回り）に回し、取り付けます。

お願い

- 本体カバーを両手で軽く手前に引き、上部のツメおよび締付ねじが確実に引っ掛っているか確認します。はずれる場合はやり直してください。

試運転

■つぎのように試運転を行ってください

- レンジフードファンまたは換気扇本体のスイッチ、あるいは壁スイッチを「入」にし、つぎのことを確認してください。

●パネルは開きますか

●異常な振動、騒音はありませんか

お願い

- 本体カバーはパネルが開いている状態でははずさないでください。パネルと本体カバーのスキマが大きくなったり、動作不良の原因になります。
- パネルが開いている状態で、パネルを押さないでください。パネルと本体カバーのスキマが大きくなったり、動作不良の原因になります。

各部のなまえ

本体カバー

本体

使いかた

レンジフードファン本体スイッチ

壁スイッチ

レンジフードファンなどの換気扇本体のスイッチ、あるいは壁スイッチで操作します。

■換気するには

レンジフードファンまたは換気扇本体のスイッチ、あるいは壁スイッチを「入」にするとパネルが開きます。

■止めるには

レンジフードファンまたは換気扇本体のスイッチ、あるいは壁スイッチを「切」にするとパネルが閉じます。

お手入れのしかた（あまり汚れないうちにお手入れしてください。）

■お手入れの前に

- 分電盤のブレーカーを切ります。
- パネルを閉じてください。
- 本体カバーはパネルが開いている状態では、はずさないでください。
- パネルが開いている状態でパネルを押さないでください。
- 手袋を着用してください。
- 台所用中性洗剤をご使用ください。化学ぞうきんやスプレー式クリーナー、シンナー・アルコール・ベンジン・灯油・ガソリン・みがき粉・アルカリ洗剤は使わないでください。
- 本体真下の床などに新聞紙などを敷くことをおすすめします。お手入れの際にほこりなどが落ちることがあります。

本体カバーのはずしかた

1. 締付ねじを反時計方向に回し（約6回）ゆるめます。
2. 両手で本体カバーを持ち、本体上部のツメ（2カ所）からはずします。

本体カバーの取り付けかた

本体カバーのはずしかたの逆の順序で取り付けます。

お願い

- 本体カバーを取り付けたら、本体カバーを両手で軽く手前に引き、上部のツメおよび締付ねじが確実に引っ掛っているか確認します。はずれる場合は、やり直してください。本体カバーが落下する原因になります。

本体カバー・パネルのお手入れ

1. 本体カバーをはずします。
2. 台所用中性洗剤に浸した布をしぼって汚れをふきとります。
3. 洗剤が残らないよう、水でしぼった布でふきとります。

本体のお手入れ

ほこりを掃除機で吸い取ります。（レバーを変形させないでください）

清浄フィルターのお手入れ（2ヵ月に1回を目安にお手入れしてください。）

清浄フィルターのはずしかた

1. 本体カバーの裏側に固定されているフィルター押えを上下の固定片よりはずします。

お願い

- 本体カバーを取り付けたら、本体カバーを両手で軽く手前に引き、上部のツメおよび締付ねじが確実に引っ掛っているか確認します。はずれる場合は、やり直してください。本体カバーが落下する原因になります。

お手入れのしかた（つづき）

清浄フィルターのお手入れ（つづき）（2ヵ月に1回を目安にお手入れしてください。）

清浄フィルターのはずしかた（つづき）

2. 清浄フィルターを持ちキャップ押えから、めく
るようにはがします。

清浄フィルターのお手入れ

●汚れの少ない場合

ホコリを掃除機で吸
い取ります。



●汚れのひどい場合

水かぬるま湯に台所用中性洗剤を溶かして軽く押し洗いし、洗剤が残らないように水で洗い流してから、十分に乾燥させます。熱湯で洗ったり、もみ洗いや力を加えて曲げることは絶対にしないでください。

お願い

- 清浄フィルターは水洗い5～6回を目安に交換してください。
- 別売部品：交換用清浄フィルター F-20MK



■お手入れの前に

- フィルターは熱湯で洗ったり、もみ洗いや力を加えて曲げることはしないでください。
- 食器洗い機でお手入れしないでください。



お手入れが終わったら

乾燥した清浄フィルターを元どおりに取り付けます。
組立は、はずした逆の順序で行ってください。

試運転

換気扇本体のスイッチ、あるいは壁スイッチを「入」にし、つぎのことを確認してください。

- パネルは開きますか
- 異常な振動、騒音はありませんか

修理を依頼される前に


■下記のような現象が生じた場合は、お客さま自身で点検してください。

現 象	点 検
スイッチを入れてもパネルが開かない。	●ブレーカーが切れていませんか。 ●停電ではありませんか。
運転中に異常音や振動がする。	●本体カバーが確実に取り付けられていますか。

■上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のため、すぐに電源を切って、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。（有料）
★ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は **お買い上げの販売店へ**ご相談ください。
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エアコン空調換気ご相談センター	
 0120-1048-00 修理受付時間：9:00～20:00（年中無休） 相談受付時間：月～金 9:00～18:00 携帯電話・PHSなど 03-5326-5038（通話料：有料） FAX 0947-32-8018（通話料：有料）	・お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。 ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にて、お客様の個人情報を提供する場合があります。

修理を依頼されるときは

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切り、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品 名	給気電動シャッター
形 名	DV-20MKF
お買上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お 名 前	
電 話 番 号	
便 利 メ モ	お買上げ店名 ☎（ ）－

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技 術 料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代金です。
出 張 料	商品のある場所へ、技術者を派遣する料金です。

出張修理

補修用性能部品の保有期間

- 補修用性能部品の保有期間は、製造切後6年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。



愛情点検

●長年ご使用の製品の点検を！

ご使用の際
このようなことは
ありませんか。


- スイッチを入れてもパネルが開かない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- こけ臭いにおいがする。

ご使用中

故障や、事故防止のため、電源を切って必ず販売店・工事店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は販売店・工事店にご相談ください。

日本キャリア株式会社

〒416-8521 静岡県富山市蓼原336番地

 0120-1048-00

TOSHIBA

東芝換気扇システム部材取扱・取付説明書 給気電動シャッター（フィルター付）

形名 DV-20MKF

日本国内専用品
Use only in Japan



ET99914501-2

- このたびは、給気電動シャッターをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けいただくために、この取扱・取付説明書をよくお読みください。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱・取付説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この取扱・取付説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
- また、この取扱・取付説明書をお客さまで保管いただくように依頼してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。

安全上のご注意

- 商品および取扱説明書にはお使いになるかたやほかの人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明



警告

“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定される内容”を示します。



注意

“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定される内容”を示します。

- * 1: 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- * 2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- * 3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



禁止

○は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

警告



改造禁止

改造はしない

火災・感電・けがの原因となります。



分解・修理禁止

修理技術者以外の人は、分解、修理（※）をしない

火災・感電・けがの原因になります。
※修理はお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気
ご相談センターにご連絡ください。



交流100V使用

電源は交流 100V を使う

交流 100V 以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。



ブレーカーを切る

お手入れのときは、分電盤のブレーカーを切る

感電・けがの原因になります。



水かけ禁止

水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしない

漏電により火災・感電の原因になります。



ぬれ手禁止

分電盤のブレーカーはぬれ手で切／入しない

感電の原因になります。

注意



確実に行う

電気工事は必ず電気工事店に依頼する
電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
電源電線の接続は機械的な方法で確実に接続する
接触不良や誤った電気工事は火災や感電の原因になります。



取付注意

メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造
営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、
ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付ける
漏電した場合、火災の原因になります。



確実に取り付ける

強度がある場所に確実に取り付ける

落下により、けがの原因になります。



確実に取り付ける

本体カバーは確実に取り付ける

落下により、けがの原因になります。



取付禁止

炎が接近したり、あたる恐れのある場所へは取り付けない

火災の原因になります。



手袋着用

取付け、お手入れのときは、手袋を着用する

手袋を着用しないと、けがの原因になります。



使用禁止

浴室など、湿気の多いところや水のかかるところでは使わない

火災・感電の原因になります。



使用禁止

異常な振動があるときは使わない

本体・部品の落下により、けがの原因になります。



ブレーカーを切る

長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る

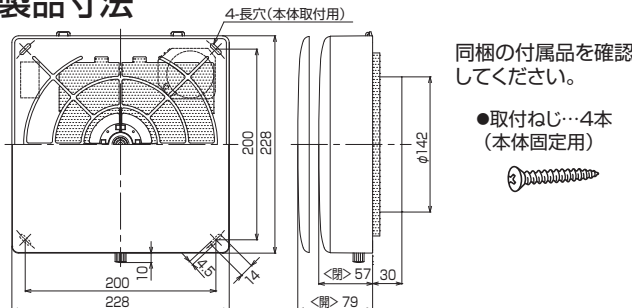
絶縁劣化による火災・感電の原因になります。



取付禁止

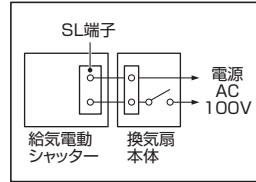
本体の取付位置は、燃焼ガスなどの排気口より離れた位置に設ける
室内の酸欠の原因になります。

製品寸法



配線図

〈換気扇に接続する場合〉



〈壁スイッチを設ける場合〉

